



イマジン
ロータリー

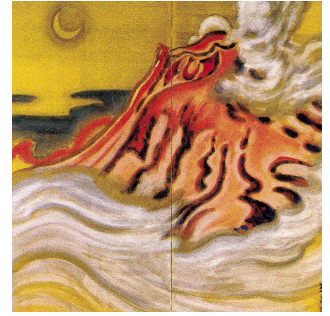
2022～2023 年度
国際ロータリーのテーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週木曜日 12:30～13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
◆会 長 / 加藤 輝男 ◆副 会 長 / 朝倉 俊次
◆幹 事 / 鴨下 直哉 ◆広報・情報委員長 / 望月 完

NO. 1560 令和5年2月2日



◆点鐘	加藤 輝男 会長
◆SAA	小山 等 委員長
◆ソング	君が代・誕生日の歌

◆誕生祝

前田博志会員・青松英和会員・田中陽介会員

◆結婚祝

矢島栄一会員・まゆみ夫人
両川博之会員・栄子夫人

◆皆勤祝

矢島栄一会員 15 回

【会長挨拶】加藤 輝男 会長

皆様ご苦労様です。

早いものでもう2月に入りました。今日は久しぶりに青松会員の自己小伝が入っています。楽しみにお聞きしたいと思えます。

ここ最近では物騒な話ばかりが多く連続強盗殺人とか若者が3人から6人位で特定の自宅に押し入り強盗に入り現金とか金品を盗み時には殺人まで犯してそれで当たり前のような感覚でいる様な世の中そしてスマートフォン、アプリ、SNSの普及とかで複雑な事件が増えてきています。

オレオレ詐欺もその一つだと思いますが人を騙して危険覚悟でその仕事をやる若者の気持ちが私は良く理解できません。普通に考えればそんな危険な事をしなくても世の中真面目な仕事に付き真面目に一生懸命すれば生活は安定し毎日安心した生活が過ごせると思えます。

ですから何%の若者達が人はどうなっても自分が多額の現金を手にして楽をして簡単に儲かる仕事を選んでいるのでしょうか。そんな話は長続きしません。楽しく儲かる仕事なんて絶対ありません。と言う事を何%の若者に教育してやりたいです。

先日お話をしました統一教会の経営のやり方だって同じ様な事だと思います。他人はどうなっても自分達だけ良くなれば良い、だから信者に不幸な方が増えて来るのではないのでしょうか。

その点、私達ロータリークラブの会のあり方と言いましょか、困っている人達を助け、社会には奉仕の心を持って実行していく素晴らしいと思えます。

【幹事報告】鴨下 直哉 幹事

1. 国際ロータリー日本事務局よりロータリーレート変更について

2月より1ドル=130円(現行132円)に変更

2. 例会変更

佐久コスモスRC	2月13日(月)	定刻受付なし
	2月20日(月)	定刻受付なし
	3月13日(月)	定刻受付なし
佐久RC	2月2日(木)	時間短縮
	2月9日(木)	時間短縮
	2月16日(木)	時間短縮
	2月23日(木)	定刻受付なし

3. クマヒラ・ホールディングスより抜萃のつづり

- ・例会終了後現及び次期合同理事会
- ・来週2月9日(木)休会(法定休日週)

【本日の配布物】

週報1558・1559号、1月理事会報告、抜萃のつづり

◆出席報告 黒澤 明男 委員

会員数	20名	出席義務者	20名	免除者	0名
本日		出席	15名		
		事前MU	2名	75.00%	
前々回(1/19)		MU	0名	75.00%	

◆ラッキー賞

NO. 7 小山 等 君

次週のプログラム:

2月9日 休会(法定休日週)

次々週のプログラム:

2月16日「自己小伝Ⅱ」

前田博志会員

◆ニコボックス 橋詰 希望 委員

加藤 輝男君	ご苦労様です。先週物騒な事が有りました。作業員の様な人が自宅に来て電気廻りが故障しているかもしれないと自宅に上がって来た事が有りました。2~3分位で直りましたとスタスタと帰って行きました。オレオレ詐欺か強盗しようとしたのか。皆様くれぐれも気を付けて下さい。
矢島 栄一君	本日は結婚祝と皆勤祝を頂きました。15回目の皆勤祝という事ですが今後も出来る限り続けて行きたいと思えます。
前田 博志君	誕生日ありがとうございます。

橋詰 希望君	青松さん、自己小伝Ⅱ楽しみにしています。
青松 英和君	自己小伝、ご清聴よろしくお願ひします。誕生日ありがとうございます。
小林 秋生君	腰痛の為、ちょっと長いお休みになります。元気に戻りたいと思ひますのでよろしくお願ひします。
両川 博之君	結婚祝ありがとうございます。
倉本 浩行君	新年会、弟と参加ありがとうございます。泰志も楽しんでました。
小山 等君	ラッキー賞ありがとうございます。青松さん自己小伝楽しみにしています。

【本日のプログラム】 「自己小伝Ⅱ」 青松 英和 会員



「ロータリークラブと私の後半生」

昭和 24 年2月27日に上田市に生まれて、小中高と市内の学校に学びました。卒業後 26 歳になるまで8年間青春の蹉跎と彷徨の時期を過ごしました。昭和49年12月26日に小諸市に市内初の駐車場を備えた郊外型パチンコ店を開業しました。昭和40年代と言えば世の中はモータリゼーションの時代に突入して、従来の市街地の外側に大きな駐車場を備えた店

舗が次々とオープンしていた時代です。

現在南町にあるウエルシア薬局の場所に開業したわけですが、当時あの辺りは旧来の市街地の外側でした。閉店後駐車場の照明が消えるとあたりは真っ暗闇になり、店の前の国道ではタヌキなどの小動物がしょっちゅう横断していました。私は小諸市に来るまでは上田市内の中心部に住んでいました。周辺の飲食店の看板や街路灯の照明のおかげで暗い夜道というものがない環境でした。開業当初は真っ暗闇のえらいところに来てしまったなと思ったことを今でもよく覚えています。

昭和50年代半導体の普及が様々な業界に画期的な技術革新をもたらします。パチンコ業界においても画期的な遊技機が開発されました。現在までその基本形は変わっていないいわゆるセブン機の登場です。先端技術の IC 基板で作動する遊技機です。遊技機がアナログからデジタルに大変革したわけです。新しい遊技機は従来の遊技機の10倍の価格でしたが、あっという間にパチンコファンの心を捉え、以後爆発的にこの業界は膨張発展していきました。最盛期には全国で 18000 店舗余りが営業し、長野県でも 300 店舗がありました。

業界の急成長の中でこの業界も産業界の一員として様々な面で整備されていきました。働き盛りの私も業界の活動に参加して県の組合の副理事長として50代を迎えました。そんな折、親しくしていた小諸ロータリークラブの方から入会のお誘いを受け入会の手続きを進めていました。ある時小諸市に移住して以来公私ともにご指導いただいていた橋詰さんに何気なくそのことをお話ししたら彼は慌てて当クラブの重鎮の小山盛夫さんを連れてきました。小山盛夫さんは私の高校時代の部活の大先輩であり、私が現役の際は練習によく顔を出していただきました。皆さんご承知のように運動部の先輩後輩の関係は絶対的なもので、結局小諸ロータリークラブには不義理をして半ば強制的に当クラブに入会させられた次第です。

又、当時県の組合には私より少し年上で、長野市のロータリークラブで活躍されていた人格識見豊かで非常に有能な方が私と同じ副理事長の職にありました。組合では次期理事長には当然その方がなるものと目されていました。

しかしある時にその方に呼ばれ、私に次期理事長の職責を担う気はないかと問われました。私にその気持ちがあればその方は応援すると言われました。私は事の次第に面食らいましたが、その方の事情とお考えをお聞きして次期理事長職を引き受けることにしました。

県の組合の代表として全国組織に参加する中で他県の理事長の推薦などもあり、全国組織の5人の副理事長の一人として60代を迎えました。その時期の業界はセブン機の出現で余りにも急劇に拡大発展したために業界と社会の間に大きなひずみが生じてきていました。当時全国組織の中では活動方針を巡って二つの潮流があり激しく対立していました。しかし、業界内の対立は業界の将来の発展のためにならず、業界と社会の間のひずみを解消するためにもここは業界が一枚岩になって進むべきとの私の考えが全国各県の理事長の賛同を得て全国組織の理事長に就任しました。

理事長就任後余りにギャンブル志向に走っていた業界を本来の姿に戻すべく努力しましたが、法の制約等もありなかなかうまくいきませんでした。結局業界の自主的変革は中途半端に終わり、その後さまざまな法的規制を受けて現在の業界は全国で7000店舗弱の規模にまで縮小しています。

振り返ってみれば、私が小諸市に住まいを構えて今年で50年近くになります。その間仕事においては同業の長野市のロータリーアンが、私生活においては当クラブのメンバーの皆さんがわたしの後半生の骨組みを作ってくれたように思います。皆さんとの付き合いが私の人生の後半生を彩りよくしてくれたことには感謝の言葉しかありません。